

2020年度 年末手当シリーズ⑧

東日本ユニオン 中央本部



これが現場社員の声だ！

東日本ユニオンは、**「ボーナス3.0ヶ月」を要求しました!!**

赤字なのに3.0ヶ月要求は多すぎませんか？

コロナ禍により、短期的に収入は落ち込んでいますが、JR東日本の経営が本当にヤバいと、経営陣も世間も思っていないのではないのでしょうか。
その根拠の一つは、現金調達能力です。確かに今年度は、例年になく「社債」や「コマンドレバード」を発行しましたが、別の見方をすれば「会社の信用信頼が揺らいでいない」からできたことです。ネット情報では、この状態が軽いでも(4月5月時点の一番悪い)JR東日本は6年は大丈夫とありました。当然です！過去最高益を何年も社員に還元せずに貯め込んでしまってますから！

当社は業績連動ではない！安定支給だ!! (会社倒産)

業績の良いときだけ「業績連動」といって安定支給と言っ出ていき、下げるときには業績連動では、社員のモチベーションは保てません。そもそも「3.0ヶ月」という数字は、経営を圧迫する数字ではないし、至極真実な要求です。さらに夏季手当を必要以上に下げられてもいます。こんな経営姿勢を続けていたら、転職希望は止まらないうちにも病みます。優秀な若手の芽を摘み、ハテランは自らの職場縮小のために技術継承せよと言われ、希望もしていない転職を4つがせられ、やる気を摘み取られている。「明るい未来がこの会社には描けない」これが現場最前線の現状ではないでしょうか。

冬のボーナスの水準を必要以上に下げさせてはいけません!!

コロナ禍は、ワケが普及するなどしたら、いずれ終息するでしょう。しかし、今のコロナ禍を理由に、何でもアリで効率化をやろうとはしていませんか？その最たるものが期末手当の水準を必要以上に下げることです。一方で、「今、必要なが理解できない出張や研修、施策を多めに思いませんか？そのために、慢性的な要員不足の現場は休職の嵐...」

「赤字だ、赤字だ」とうるんだ、うるんだ」とばかりの一言のついでのように、たまたま一部管理者は、除菌作業や休職の嵐で発生している苦勞や疲勞、ストレス、そして超勤手当をどう考えているのでしょうか。便所のタウン一代なんではありません。現場社員の疲勞も溜まるし、ネガティブなことばかり会社に言われ、モチベーションも上がらないのが実態ではないでしょうか。**社員のモチベーションを上げることも会社の発展のために必要だと思います!**

だからこそ！こんな冬のボーナスの水準を必要以上に下げさせてはいけません。必要以上に下げられたら、業績が上向いたときに、上げる経営陣ですか？この間の姿勢を見れば、火を見るより明らかです！労働組合を崩壊させ、未加入者が7割以上いる会社だからです。

言い方は悪いですが、組合未加入者は、会社にとり、施策に口も出せない、無感心と思われ、何と何ともありません。社友会なんて、会社の言うことは何でも聞く社員だと会社に思われています。**このままを良いのでしょうか？**

私たちは、無謀な要求は全くしていません！生活を守り、会社の発展のために、社員への投資を甘くみてはいけません。声を挙げたまま変わりはしません。私たちが共に声を挙げていきます!!

ただいま集会開催中！ 年末手当に対する集会で 出された意見を紹介します。

- 夏のボーナスで減った分を取り返さなければならぬ！私達は生活がかかっているんだ！
- 他支社の若い知り合いが将来性が見えないと転職を考えている。安定性を求めてこの会社に入ったが、仕事量と賃金が合わないと感じているようだ。会社は世間相場・突出感とか言っているが低額回答だとせっかく入社した人が退職してしまう。将来的にも損だ。
- 住宅ローンや子供の学費で支出が多い。車も買い換えなければだが新車ではなく中古にしなければならぬ。
- 夏抑えられた。内部留保は何かあった時のために貯めてきた。こういう時のために貯めてきたのではないのか？冬は払うべき。
- 会社は過去最高を出した年でさえ、安定支給・業績連動ではないと言ってボーナスを抑えてきた。ならば、冬のボーナスも安定支給をするべき。
- 今年(10月)現在で年収が、昨年(10月)に比べて大幅に下がっている。
- 今まで儲かっても出してこなかった。安定支給を！
- メディア・世間の風潮に流されている。だまされるな！
- 会社施策で社宅15年居住制限をきっかけに自宅購入をし、住宅ローンが組まれているが返済にボーナス払いを併用しているのが実態であり勝ち取るには必須

皆さんの声もお聞かせください！

JR東日本労働組合
上中越支部 情報

2020年10月29日発行
発行所：JR東日本労働組合
編集：教育・広報部
印刷：印刷部

2020 年年末手当 組合員の声、続々!!

- ニュースで赤字決算が報じられ外堀から埋められている。しかし、今まで業績好調のなかが出てこなかった。今こそ出すべきだ。
- エルダーは基本給が低いから金額に直撃する。
- 他会社のボーナスの動向がニュースで報じられ、若い人もボーナスに興味を持つようになった。
- JR西日本が1.5ヶ月に下げられたのを聞き、東日本も同等ではないかと思ってしまう。ネガティブな気持ちだった。しかし、集会に参加し議論したことで自分の気持ちも変わってきた。過去最高の時に出してこなかった分、こういう時こそ出してほしい。
- 3.0ヶ月の要求には正直びっくりしたが、安定支給を理由に出してこなかったのだから、こういう時こそ出してほしい。

みなさんの率直な意見を聞かせてください!

JR東日本労働組合
上中越支部 情報

2020年10月29日発行
発行所：JR東日本労働組合
編集：教育・広報部
印刷：印刷部

2020 年年末手当 組合員の声、続々!! part2

- 会社はこれまで抑えてきたのだから出すべき。
- ローンがあるのでボーナス多く出して欲しい。
- 会社の決算の出しが姑息だと思った。
- 西日本の1.5ヶ月はインパクトがあったが、私たちの仕事は変わらない
- 現場にはネガティブイメージがある。

みなさんの率直な意見を聞かせてください!